

第106回東北地方交通審議会
船員部会 議事要録

平成29年 8月25日
東北地方交通審議会
船員部会事務局

東北地方交通審議会 第106回船員部会

日 時 平成29年8月25日（金） 15：30～

場 所 仙台第4合同庁舎 4階会議室

出席者 公益委員 : 長谷部部会長、高橋(真)部会長代理、
佐々木委員、森委員（欠席）
労働者委員 : 熊谷委員、高橋(雅)委員（欠席）、津田委員
使用者委員 : 齋藤委員、白幡委員、平岡委員

運輸局 : 畠山海事振興部長、阿部海事振興部次長
和田船員労働環境・海技資格課長
澤村船員労政課長、大友労政係長

議 題 (1) 審議事項
船員に関する特定最低賃金の改正に係る諮問について

(2) 管内の雇用等の状況について

(3) その他

配付資料

資料1 船員の特定最低賃金の改正に関する諮問関係資料
資料2 船員職業安定業務取扱状況説明資料（6月分）
資料3 新規求人・求職数（東北管内：3年対比）
資料4 有効求人・求職数（東北管内：3年対比）
資料5 新規求人・求職数（全国）
資料6 有効求人・求職数（全国）
資料7 有効求人倍率（東北管内）
資料8 有効求人倍率（全国）
資料9 「南陽市で中学生海洋キャリア教育セミナー開催」プレス
リリース
資料10 新聞情報

議 事 概 要

◎開 会

【阿部海事振興部次長】

〔第105回船員部会の成立について報告〕

〔配付資料確認〕

◎議 事

(1) 審議事項

船員に関する特定最低賃金の改正に係る諮問について

【長谷部部会長】

それでは、早速議事に入ります。

お手元にあります議事次第の「議題（1）審議事項」から始めます。

「船員に関する特定最低賃金の改正に係る諮問について」、配付資料1-1のとおり、8月8日付で東北運輸局長から東北地方交通審議会会長に対しまして、最低賃金法第35条第7項の規定に基づき、最低賃金の改定に係る諮問がございました。

そして、配付資料1-2のとおり、東北地方交通審議会運営規則第9条により、船員部会において審議されるよう8月24日付で東北地方交通審議会会長から当船員部会へ付託されました。

それでは、海事振興部長から諮問の趣旨説明をお願いいたします。

【島山海事振興部長】

それでは、諮問趣旨についてご説明をさせていただきます。

改めて申し上げるまでもなく、最低賃金は、最低賃金法に基づき賃金の最低額を保障することにより、労働条件の改善を図り、もって労働者の生活の安定、労働力の質的向上及び事業の公正な競争の確保に資するとともに、国民経済の健全な発展に寄与することを目的として設定するものでありまして、船員に関しては、適用する地域が全国に及ぶ場合は交通政策審議会に、適用する地域が地方運輸局の管轄区域内である場合は、地方交通審議会に調査審議を求め、その意見を聴いて決定することとしております。

当運輸局管内における現行の最低賃金は、「東北内航鋼船運航業及び木船運航業」、「東北海上旅客運送業」、「東北漁業（沖合底びき網）」、「東北漁業（大中型まき網）」の4業種とも、平成29年4月9日に効力が発生した最低賃金が適用されています。

最低賃金の改正にあたりましては、最低賃金法の規定により「船員の生計費」、「類似の船員の賃金」、「企業の賃金支払い能力」などを勘案いたしまして、本審議会に諮問させていただいて改正を決定することとしております。

例えば船員の生計費に関しては、平成28年の全国の標準生計費1～5人世帯の各世帯で上昇しております。また、平成28年の消費者物価指数は、対前年比で「全国が0.2ポイントの減少」「東北は0.5ポイント減少」しておりますが、

7月28日に公表された全国の物価指数を見ると、昨年の10月以降今年の6月までは、毎月前年を上回っている状況です。

また、類似の船員の賃金に関しては、中央は諮問済み、隣接する地方局では北海道・関東・北陸信越運輸局が諮問済み、ほかの運輸局も諮問または諮問予定との情報が入っております。

その他斟酌すべき事項として、月例経済報告によると景気は穏やかな回復傾向が続いていること、陸上の一般産業の最低賃金が全ての都道府県で上げが答申されたこと、今年的人事院勧告で上げが勧告されたこと、更には昨年度の審議状況等を勘案し、改正要素はありと判断し、今年度は、東北内航、海上旅客、沖合底びき網並びに大中型まき網漁業の4業種全てについて、現行の最低賃金に検討を加える必要があると認め諮問することといたしました。

どうぞよろしくご審議の上、ご答申を賜りますようお願い申し上げます。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。今のご説明にもありましたように、最低賃金の改正の要素があるということで、諮問が決定されたということでした。ただいまの説明につきまして、委員の皆様方からのご質問等ございましたらどうぞ。よろしいですか。

それでは、諮問を受けまして、船員部会の運営規則第6条の規定によって、最低賃金専門部会4業種を設置することといたします。よろしいですね。（「はい」の声あり）

ありがとうございます。

それでは続きまして、事務局から資料の意見聴取に関する公示案及び船員の特定最低賃金の改正に関する諮問状況等について、説明をお願いします。

〔澤村船員労政課長から資料1-3、1-4の説明〕

【長谷部部会長】

ありがとうございます。それでは、ただいまの説明につきまして何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。（「なし」の声あり）よろしいですか。

ご了承いただいたということで進めたいと思います。

続きまして、専門部会委員の任命と今後のスケジュールにつきまして、事務局からご説明いただきます。

〔阿部海事振興部次長から資料1-5の説明〕

【長谷部部会長】

ありがとうございました。ただいまの説明につきまして何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。委員の任命とこれからのスケジュールについてでしたが、実際のコーディネーションのときは、いろいろと皆さんのご協力をいただくこともあるかもしれません。よろしく申し上げます。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

ありがとうございます。それでは、ご了承いただいたということで次に進めたいと思います。

(2) 管内の雇用等の状況について

【長谷部部会長】

次に、議事次第の「議題(2) 管内の雇用等の状況について」につきまして、事務局からご報告いただきます。

〔澤村船員労政課長から資料2～8に基づき報告〕

【長谷部部会長】

ありがとうございました。それでは、ただいまの報告内容につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらどうぞ。よろしいですか。

では、ないようですのでご了承いただいたということで、次に進めさせていただきますと思います。

(3) その他

【長谷部部会長】

それでは次に、議事次第の「議題(3) その他」に入ります。最初に、資料9につきまして事務局からご説明いただきます。

〔澤村船員労政課長から資料9の説明〕

【長谷部部会長】

ありがとうございます。一昨日8月23日に開催されました、海洋キャリア教育セミナーのご報告でした。ちなみに海のない南陽市での開催というのは、どういう事情があったのですか。

【澤村船員労政課長】

長井市出身で東京海洋大学に在学中の学生さんがいらっしやって、何か機会を設けて、自分の地元の後輩たちに海のよさを普及できればということで、一昨年、まず一つの中学校を対象に海洋教室をやられました。昨年、南陽市教育委員会の理解も得られて、日本海事広報協会と東京海洋大学等で検討調整した結果、第1回目のセミナーが開催されたということです。

日本海事広報協会は、昨年からはキャリア教育セミナーを開催しておりまして、第1回目が南陽市ということです。今年は苫小牧市で開催されました。南陽市は昨年好評だったことから、ぜひフォローアップを行いたいということで、引き続き開催したという経緯でございます。

【長谷部部会長】

海のない地方からということが、ちょっとおもしろかったです。ありがとうございます。何かご質問、ご意見等ございますか。

【熊谷労働者委員】

感触はどうでしたか。

【澤村船員労政課長】

教育委員会の方とお話しさせてもらったのですが、生徒も非常に興味を示された

ということで、昨年からですのでまだ成果としてはあらわれていないんですが、海に関する仕事について理解してもらい、視野も広まったのではないかと考えております。

【長谷部部会長】

よろしいですか。ありがとうございます。

そのほかございますでしょうか。

なければ、次に進めさせていただきたいと思います。

【長谷部部会長】

それでは、委員の皆さんからの情報提供です。では、労働者委員のほうから何かありましたらお願いします。

【熊谷労働者委員】

ご承知のとおり大型船のサンマ船が8月20日解禁になりました。それに向けて、東北管内では小名浜から7隻、気仙沼から12隻、大船渡から5隻、釜石から1隻か2隻が出港して、今操業している最中であります。

当初7月の公海サンマの試験操業では、水産研究・教育機構、以前の水産総合研究センターですが、その長期予想によれば、来遊量は昨年を下回る見込みで、特大サンマは少ないだろうということでした。また、今イワシとかサバの漁がよくて、そちらにエサを取られているということもあり、それも踏まえればやはり今年は特大サンマは少ないかなという予想の中で、漁が始まりました。この前23日、根室花咲のほうで大型船及び小型船の全船で400トン水揚げしております。ちなみに去年の解禁当初の初水揚げは500トンでした。金額的には昨年に比べて33.8%の259円安の1キロ当たり今年767円と高値がついたようです。今年は特大が少ないということで、当初の予想どおりの120から130グラム程度の形が中心になったというような状況です。

ちなみに23日は気仙沼でも1隻揚げていますし、また24日は大船渡でも1隻揚げています。

まだ漁が始まったばかりで、今後どのようになっていくかわからない部分もありますが、ただ今年は釧路沖に暖水塊がないということで、沿岸のほうに魚が寄ってくるのではという予想を立てているようです。

以上です。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。高値というニュースだけが伝わると、高級魚になったのかなという気がするのですが、例年から見るとそれ程でもないということですか。

【熊谷労働者委員】

いや、高いのではないですか。今、サンマもイカも全然漁がなくて、去年はイカ釣りが結構すごいことになり、消費者もなかなか口に入らないというような値段でした。ただある程度の値段、みんなが潤うような値段じゃないといけません。イカのほうでは去年あたり、水産加工会社とか加工している業者さんが高くて買えない

ため倒産した例もあります。そうなると、一般の消費者もなかなか食べられなくなって悪循環になるので、そこそこの値段がいいと思います。

【長谷部部会長】

漁獲量の問題は、中国とか何かの競争があってという話とは別の話ですね。

【熊谷労働者委員】

まあ、中国、朝鮮も今は結構騒いでいます。日本の漁船が今獲っている場所に木船のような船でやってきて、むしろ日本の漁船が、本来であれば獲っている場所から逃げているような状況なんです。

【長谷部部会長】

サンマ高はそういうことが影響しているのですか。

【熊谷労働者委員】

サンマが獲れないのが一番だと思います。外国の漁船が公海、日本のEEZ（排他的経済水域）のすぐ外で獲っていることも要因であると思います。大型船で来て獲っていますから。

【長谷部部会長】

素人的には、何で高くなるのか考えると、サンマが日本の漁船から逃げていった先でいっぱい獲られているのかもしれないと思ったりします。そこは必ずしも因果関係は明快ではないという話ですね。

【熊谷労働者委員】

まあ、何とも言えないですね。

【長谷部部会長】

わかりました。あまり国際紛争にならないほうがいいですね。ありがとうございます。

ほかに何かございますでしょうか。

【津田労働者委員】

前回の船員部会で報告しておりましたが、先月18日から八戸を拠点とした調査捕鯨が今月20日に終了いたしました。捕獲調査ということでミンククジラ30頭を目標にしておりましたが、わずか3頭にとどまり、また、気象・海象の条件がなかなか悪くて、10日程度の捕獲調査に終わったということで伺っております。

20日に終了した後は、次の調査が釧路のほうで毎年行っていますので、そちらへ向かい、今後調査を開始するという情報の情報です。

以上です。

【長谷部部会長】

ありがとうございます。何かご質問等ございますか。よろしいですか。

それでは、使用者委員のほうから何かございますでしょうか。せっかくそれぞれ遠いところから来ていただきましたので、どうぞご発言ください。

【白幡使用者委員】

前回の部会で、9月30日に八戸でタウンミーティングがあるというお話をいたし

ました。これは海事振興連盟が主催するわけで、衛藤征士郎会長、高木義明副会長等々がご出席、そのほか国会議員の先生方も来られます。当会でも何点かの要望事項を考えておまして、その中で1点、海の日 of 意義を広く国民に定着していただくために、海の日 of 固定化のお願いをしようと考えております。そのほか of 何点かに関しましては、直接我々に関わる問題なので、当日お話ししますが、海の日 of 固定化だけ is お願いしたいと考えております。

【畠山海事振興部長】

7月20日に固定化ということですね。

【白幡使用者委員】

そうです。

【長谷部部長】

大きく変わるわけですよ。なかなか大変な法改正かもしれない。

ほかにいかがですか。

【平岡使用者委員】

6月に内航未来創造プランが発表されましたが、その中での内航海運の課題として、事業の継続性が挙げられております。内航海運の事業者数は過去10年で23%減少しているようで、内航海運を今後も継続していくに当たっての課題としては、約4割の事業者が船員の確保が困難としており、船員を継続的に確保していくことができるか、できないのかが事業の継続性の最大の課題となっているということです。今後船員を確保できない事業者が事業を断念し、事業者数はさらに減少する可能性があるとしております。

最近の船舶の建造状況を見ますと、一般貨物の主力である499トン総トンが低調となっております。船主にとっては金利が安く、建造資金を確保しやすく、船舶を建造しやすい環境にあります。が、2020年の東京オリンピック以降の荷動きの先行きが不透明だということもあり、荷主の保証やオペレーターの傭船保証が得にくいこと、船員確保難のために建造申請が減っているということが原因になっているみたいです。船というのは14～15年使いますけれども、それまで船員を確保できる見通しがつかなければ、船をつくれないうのが実態です。

以上です。

【長谷部部長】

そういうことですか。勉強になりました。観光のほうは、今のような問題はないのですか。

【白幡使用者委員】

観光については、今はインバウンドを抜きにしてはもう語れない状況になっています。東北のインバウンドの入り込みに関しては、全国的に見て四国と並んで低調なんです。数字的に極めて少ない。国交省でもインバウンドには相当力は入れており、その中で観光船のほうにも誘致という意味からも、外国クルーズ船の東北入港を進めていこうという話等々ございまして、国と県と民とが一緒になって今取り組

みをやっているという現状です。

【長谷部部長】

産業立国がだめになって、観光立国になってきたのがはっきりと出ているようなお話を聞いたような気がしました。

齋藤委員からもご発言いただけますか。

【齋藤使用者委員】

サンマが高いという話題が今ありましたが、魚価が一般に今高くなっています。先程のイカの話もありましたし、マグロも高くなっていて、やや安いかなというのはイワシ、サバ、その辺です。安くて豊富なものを食べてもらえばいいのかなとは思っています。

我々漁業の中では、浜高というのは当然歓迎することではありますが、ただ加工、買い受けの方がなかなか苦労されているという現状があるので、特に量販店なんです。マーケットから理解をいただき、漁業の再生産を可能とする価格で底上げを図らないと、漁業の継続が困難であると思います。今、日本の魚の値段は外国と比べても非常に安く、結果海外からも買い負けてなかなか輸入ができない。日本のデフレが長く続いたことが原因なのか、よくわかりませんが、そういった傾向はあります。

私は、気仙沼の魚市場の運営にも関わっていますが、卸売市場法の改正が今話題になっていまして、それは全ては農業者の所得向上ということが目的にうたわれています。やはり農業、漁業とも生産者の安定的な所得が得られるようでない、いろいろな意味で大変だろうと思います。

そういったことで魚がただ高いという報道もある意味困ります。例えばサンマであれば1匹150円くらいというのは、我々はそんなに高いとは思いません。缶コーヒーが1本120円と比べて、サンマが1匹150円というのが高いとは全く思わないし、2～3年前はセールで3匹200円とかになったりしました。今でも鮭も1切れ150円とか、それが高いとは思わないが、消費者の理解がなかなか得られない。

一方では安全を求める声があって、それには当然コストもかかります。そういった安全に対するコスト、漁業、農業が継続するための最低限の所得を保障するためのコスト、そういうことの理解は求めたいという希望はあります。

【長谷部部長】

ありがとうございます。なるほど、そういう見方もあるのですか。今の話はある意味でおもしろかったです。

この件に関して、何かご意見等ございますか。

【熊谷労働者委員】

アニサキス（魚の寄生虫）についてはどうですか。結構テレビで報道されましたが……。

【齋藤使用者委員】

あれは相当影響があります。即売れなくなる。

【熊谷労働者委員】

少し騒ぎ過ぎというか……。

【齋藤使用者委員】

やや収まったかなというのがあります。

【長谷部部会長】

1つだけお聞きします。漁業は長期的に見た場合、どういうふうに漁獲高が変わっていくという見通しを持っていらっしゃいますか。

【齋藤使用者委員】

増やせるという環境はほとんどないです。というのは、漁業管理の上では国際的にも増やすな、減らせという圧力のほうが多いわけです。そういった中、日本の漁業はなかなか割の合わない産業という見方もあるので、働く人の参入もあまりなく、無論投資をする人もあまりいない。その結果、船の代船建造もなかなかできない。獲る人も船も減っていくということです。

いろいろな魚種の中で、まだ獲ってもいいという魚種もあると思いますが、全体的に増やすのは非常に大変だということです。

【長谷部部会長】

漁獲高が減らざるを得ない、魚資源が少なくなっていく、という対応関係ですが、世界的に見れば漁業が産業として小さくなっているわけではありません。競合関係とか何かの理由が外側であって、今の状況ではうまく獲れなくなると船主の方々には見えているのかなと思ってお聞きしました。

【齋藤使用者委員】

今言ったのは、ほとんど日本ではということになります。

【白幡使用者委員】

ガラパゴスで、中国の漁船による前代未聞のサメの密猟があったとのこと。数千匹と言っていました。今までそれ程大量の密猟はなかったようです。

【平岡使用者委員】

日本海では北朝鮮も獲っています。そのため、漁業協同組合の組合長が県知事などとともに、国にお願いに行っているようです。海上保安部では、捕まえることができないということらしいです。日本人が密猟すればすぐ捕まりますが、北朝鮮が相手だと写真を撮って終わりです。日本海でそれだけ無秩序に獲られたら、今までどおり獲れなくなりますよね。国際的な問題です。

【長谷部部会長】

大体よろしいでしょうか。何か勉強になったような気がしました。ほかにないようでしたら、今日はこれで閉じたいと思います。よろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

それでは、今日の議事終了ということで、次回の船員部会は9月22日15時30分から、会場はここ4階会議室で開催いたします。

◎閉 会